



CONTENTS

- 平成 27 年度スポーツ振興支援事業報告書
- 平成 27 年度地域振興事業報告書

- 奨学生の声紹介
- 平成 28 年度スポーツ振興支援事業並びに地域振興事業募集中

シリーズ 第22回

この本をあなたにも薦めたい
「危機を突破する力」
丹羽宇一郎 (著)

“奨学会だより”でつなぐ 夢の架け橋

伊藤青少年育成奨学会と、奨学生のみなさん、県下の高等学校の運動部並びに文化系部活動のみなさん、そしてこれから奨学金を受けたいと希望しているみなさんをつなぐ架け橋として「奨学会だより」を発行しております。わたしたち奨学会は、郷土・岐阜の未来を切り拓く青少年のみなさんが、その夢を実現することができるようにと、平成12年から資金援助を行っています。

しかし、みなさんが目標にしている“夢”は容易に手に入るものではありません。実現までの道のりは長く、厳しく、途中幾度となく諦めを感じることもしょくないと思います。

そんなときに、どこか遠くで頑張っているほかの奨学生の様子を目にすることができれば、きっとみなさんの励みになるのではないのでしょうか。

また、わたしたちの活動をまだ知らない方々もたくさんいらっしゃるはず。経済的理由から将来に不安を持ち、夢を諦めようとしている仲間達もいるかもしれません。

そんな方々に、みなさんの頑張っている声を聞いていただきたい——「奨学会だより」の発行にはそんな願いも託されています。

スポーツ振興支援

平成 27 年度スポーツ振興支援校からの報告書の一部です。

武義高校 硬式野球部



第 97 回全国高等学校野球選手権岐阜大会は 7 月 5 日に 2 回戦が行われ、本大会 1 シードの中京高校と対戦しました。結果は初回に 1 点先制したものの、それ以降防戦一方で 9 対 1 (7 回コールド) で敗戦しました。しかし、選手達は強打の打線の攻撃によく耐え、失策なしで最後まで諦めることなく戦い抜いてくれました。試合後は 3 年生を中心に号泣し、彼らの高校野球生活に終止符が打たれた瞬間を指導者として目の当たりにしました。6 人という少ない 3 年生達でしたが、チームをよくまとめ高校生らしいはつらつとした戦いぶりであったと彼らに感謝したいです。

8 月中旬からは、来年度の甲子園選抜大会の出場権をかけた秋季地区大会が始まります。支援事業で購入させていただいたピッチングマシンをフル活用させていただき、打撃の強化に努めて行きたいと思えます。グラウンドは他の部活動との共用ですが、既存の打撃練習場「通称：鳥かご」に

ピッチングマシンをフル活用し、打撃の強化を

ピッチングマシンを設置し、時間を有効利用して活動していきます。

最後になりますが、この度は本校硬式野球部に支援金を贈呈いただき感謝いたします。
監督 松下健二

この度は支援金をいただき誠にありがとうございました。顧問の先生から申請の話を聞いたとき、高額であるため、正直無理だと思っていました。しかし、贈呈されることになったと報告があり、ピッチングマシンが届くのが待ち遠しくてたまりません。今までは鳥かごの中で選手による手投げのボールを打って練習してきました。選手の投げるボールには限界があり、速球やスライダーなどの変化球を打つことはできませんでしたが、これからは違います。ピッチングマシンの性能を活用し、高速のストレート、キレのある変化球を設定し、打撃練習に打ち込みたいと思えます。そして、秋の大会で今まで以上の結果が出せるように選手全員で努力していきます。
主将 平川尚樹

関商工高校 剣道部



関商工剣道部は創部 65 年を迎え、卒部生も 450 人を超えました。これまでの先輩の中には、全国大会出場や東海大会上位進出の輝かしい実績を残してきました。

近年では、10 年間で 6 回の東海大会出場、2 回の入賞を果たしています。昨年度は決勝戦で敗れ惜しくも全国大会を逃してしまいました。

先輩方の悔しさをバネに必ず夢を叶え、全国大会で活躍できるようにチーム一丸となり稽古に精進しています。

この度の支援金で、痛みがひどく古くなった試合用剣道具(胴・垂れ)を一新し購入することができました。

チームの意識を高め新たな気持ちで大会に挑んでいくことができます。

剣道は個人種目ですが、団体戦を勝ち抜くためにはチームとしての意識とモチベーションの高さが必要不可欠となります。この度のご支援により、ひとまわり大きく勇壮な出で立ちで対戦相手と対陣することができます。生徒も剣道具を手に取り興奮しながら、夢への挑戦を誓っていました。

近い将来、支援していただいた剣道具を身につけ、全国・東海大会の晴れ舞台上で活躍する姿をお見せできるように「至誠明朗」の校訓のもと質実

真紅の胴衣で、いざ、晴れ舞台へ

剛健、威風堂々とした立ち振る舞いを意識し、稽古に励んで参ります。本当にありがとうございました。大切に使用させていただきます。

顧問 野々村健

私は関商工高校剣道部に憧れ関商工に入学し剣道部に入部しました。中学時代に関商工剣道部の先輩方が、赤い試合用胴を付け戦っている姿に感動し「自分もあんな風に戦ってみたい」と思ったからです。

昨年、私が 1 年生の時に 3 年生の先輩は大会で決勝戦まで勝ち上がり準優勝に輝き、今年の先輩方は準決勝で敗れ 3 位に入賞しました。関商工の試合用胴は赤色(朱色)でどの学校より強そうに見えます。そんな姿が格好良く憧れます。

今まで先輩方の汗と涙が染みついている壊れかけた防具が伝統を感じさせ私は好きでした。しかしこの度ご支援を頂き伝統を引き継いだ新しい剣道具(胴・垂れ)を手にしたとき、なぜか震えが来ました。「この胴に新しい歴史を刻むんだ! 胴に恥じない立派な剣士になるぞ」と興奮するばかりです。みんなで試着して盛り上がってしまいました。

必ず全国大会に出場し、伊藤青少年育成奨学会様のご支援に応えられるよう頑張ります。何年か先にこの剣道具が傷んだときは、後輩のためにまたご支援下さい。よろしくお願ひします。
主将 山下憲賢

岐阜聖徳学園高校 吹奏楽部 まあたらしいクラリネットで奏でる、上位大会進出への夢



秋冷の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。この度は、伊藤青少年育成奨学会地域振興事業の支援対象に岐阜聖徳学園高等学校吹奏楽部を指定していただき誠にありがとうございました。

岐阜聖徳学園高等学校吹奏楽部は、8月の吹奏楽コンクールと2

月の定期演奏会を2大行事としつつ、アンサンブルコンテストや高等学校文化連盟吹奏楽発表会等への参加、学校行事や地域・施設からの依頼演奏など、年間20回ほどの演奏活動をしています。

数年前までは、部員数が少なくコンクールにも参加できない弱小バンドでしたが、現在の部員数は、2年生だけで32名の中堅バンドに成長しました。8月の朝日吹奏楽コンクールで初めてA編成（大編成）でエントリーをいたしました（中日コンクールは小編成）。この時の部員数は43名でした。そのような活動の中で、問題となったのが楽器不足でありました。バスクラリネットは30年以上前の楽器で修理を繰り返し使用してきましたが、いよいよ限界になっていました。また、大編成用の楽譜には当たり前指定があるクラリネットが本校にはありませんでした。平成24年度に賞奨学会にピラフォンを買っていただきましたが、再びお願いをする運びになりました。

バスクラリネットとエスクラリネットを申請させて頂いたのですが、より緊急性の高いバスクラリネットだけでも思っていました。学校長より支援決定の報告を受け、内容を確認するとなんと満額が支援頂けるということでした。私はこの上ない喜びを覚えました。その日の部活動の終わりに部員に支援決定の話をする、今回は「やったあ！」という歓声とともに大きな拍手が起きました。部員全員が喜び、コンクールに向けての励みになりました。一番喜んでいたバスクラリネット奏者は、楽器が届いたら抱いて寝るとまで言っていました。

コンクールが近いこともあり、すぐに楽器店に相談に行きました。直前ではあるが納品は間に合うということ、さらに割引差額で初心者用のクラリネット1本が購入可能ということですので購入の手続きをいたしました。そして、現物が届いた日の彼女たちの目は、まさに宝物を手に入れたような輝きがありました。

コンクールでは精一杯の演奏をしましたが、まだまだ未熟であることを思い知らされる不本意な結果でありました。様々な原因があるのですが、「満足な楽器で臨んだのに」と悔しさがこみ上げてきました。

次の目標は、12月に行われますアンサンブルコンテストでの上位大会進出です。クラリネットチームは、エスクラリネットが加わったことで選曲の幅が格段に広がり、その中で自分たちが突き詰めていく1曲を選ぶことが出来ました。テスト期間中で部活動がない日も自主的に集まり練習を重ねています。

そして来年2月には、第4回岐阜聖徳学園高等学校吹奏楽部演奏会が予定されています。技術向上とともに心身の鍛錬にも励んでまいります。

今回のご支援に、顧問並びに部員一同、心よりお礼申し上げます。本当にありがとうございました。本来であれば早々にすべきお礼と報告が遅れたことをお詫び申し上げます。また、バスクラリネット・エスクラリネット奏者と部長（部長もクラリネット奏者）のお礼の手紙と写真を同封いたしました。ご一読いただけると幸いです。

今後とも岐阜聖徳学園高等学校吹奏楽部へのご指導ご鞭撻の程宜しくお願い致します。 顧問 西川政男

この度は、岐阜聖徳学園高等学校吹奏楽部にご支援をして下さり、本当にありがとうございます。おかげ様でたくさんの楽器を購入することができ、今までよりさらに良い活動ができるようになりました。本当にありがとうございます。

この感謝の気持ちを忘れずに、これからのコンクールや演奏会など、精一杯取り組んで、この部活をより良い部活にしていきます。これからも応援よろしくお願い致します。 部長 高田美優

鶯谷高校 写真部

最新鋭カメラで感動を共有！



この度の支援金の支給決定について、本当にありがとうございました。生徒も顧問の私もとてもびっくりし、そして「しっかり活動しよう！」とあらためて気持ちを強くもちました。

購入できた機種「CANON 8000D」は、販売されたばかりの

いわば最新鋭のカメラで、初めて一眼レフカメラに触れる生徒にとってはとても贅沢な機材であり、おそろおそろ手に持ち、構え、こわごわシャッターを押してみるような生徒もおりました。

大事に使用することはもちろんですが、この機材を使って、放課後などの時間でも、生徒が感じた時に、いつでも誰でも校内などで写真撮影ができるようになりました。

過日おこなわれた文化祭では、写真部の企画として例年のように「ミニ写真展」を開催しただけでなく、今年は他の企画にも協力し、当日そこへ訪れた生徒の活動の様子を購入したカメラを使って撮影しました。そして、写真部のプリンターを使って直ちに印刷してプレゼントすることも行いました。

普段の活動では、ぬいぐるみやコップやキャンディーといった小物を持

ち寄り、背景に布や紙をおいてレイアウトに工夫を凝らした「テーブル撮影会」を行っていて、ここでも購入した機材が活躍しています。撮影後は直ちに印刷してプリントで出来映えを確認するようにしています。また、ここで撮影した写真を使って、お互いの“自慢の作品”の「鑑賞会」を実施する予定であり、撮影会や鑑賞会を何度も実施することで、生徒の撮影の技術向上につなげたいと考えています。

今のカメラはシャッター・ボタンを押せば誰でも撮影ができますが、写真部としては、今後ますます自分のまわりにアンテナを張って、誰でもとれる写真ではなく、美しいもの、感動したものを記録していきたいと思っています。

そういったものを探したり感じたりしていく自分を磨き、素晴らしいもの、感動したいものを探し、発見し、カメラで記録して感動を共有する活動を高めていきたいと考えています。

この度は、本当にありがとうございました。

写真部一同

河内 優希

名古屋大学
医学部保健学科 4年
(岐阜県立可児高等学校卒)

卒業研究の発表に向け、いよいよラストスパート！

実習が終わり、4年生後期の授業はゼミのみとなりました。私の学部では、一人一つテーマを決めて卒業研究を行い、論文を書きます。私は昨年6月から、「リズムアクションゲームの難易度が前頭前野に与える影響」というテーマで研究を行っています。最近では、老人ホームなどで「太鼓の達人」を導入して認知機能の向上を図っているという話を聞いたので、認知症を患っている方に対してのリハビリテーションに役立つ

とられないかと思ったことがテーマを決めたきっかけです。大学の先輩や同級生に被験者をお願いして、NIRSという脳計測装置を用いて脳の血流変化を測定しました。結果を分析して、今は考察をしていますが、課題の設定が甘かったり、思っていたような結果が得られなかったりして、苦しい毎日が続いています。やはり、脳について勉強するのは簡単ではなく、まだまだ課題がたくさんあります。12月の初めに、卒業研究の発表があるので、1年半の間、進めてきた研究の成果を出せるよう、残り3週間頑張りたいと思います。

岩島 呂帆

京都大学
理学部（物理系）3回生
(中京高等学校卒)

さらなる素粒子論の学究と大学院入試の準備へ

3回生になって、これまでと一番大きく変わったのは「課題演習」というゼミと実験を合わせた科目が始まったことです。前期は統計力学に基づく相転移現象に関する課題演習を受講し、実際に3ヶ月程度かけて液晶の相転移についての実験を行いました。テーマ自体は与えられたものでしたが、その中でどのような予備実験を行って、より精度を高めていくかなど、実験の計画から自分たちで練っていくのは初めての経験でした。その過程でどうしたらいいかわからなくなるようなこともありました。半年間で一応は臨界指数の解析という目標までたどり着けたこと、また、例年無かったステップとして、温度較正を行い、若干精度の高い実験結果が得られたことは大きな喜びでした。また、ゼミもセット

になっていたため、しっかりと理論の方も学んだ上で実験にあたることが出来、今までに無い規模で、理論で学んだことを自分の手で確かめられたのもよい経験だったと思います。

後期は、将来研究していきたいと思っている素粒子論に関する課題演習を受講することになり、理論としては難しいと思う部分もあり大変ではありますが、前期以上に努力し、しっかりと理解して実験に臨めるよう頑張りたいと思います。

また、現実的には大学院入試までも1年を切っているのですが、今まで学んだ物理学の基礎を自分の中で再構築しながら理解を高め、大学院入試はもとより、それから先の研究に備えていけるよう努力していきたいと思っています。

浅野早衣子

横浜市立大学
国際総合科学部 国際総合科学科2年
(聖霊高等学校卒)

“グローバルスタンダード”を体感した語学留学

今期には大学生活の一つの転換点となるゼミが始まりました。ゼミではまず「まちを見る目」を養う訓練が始まり、たくさんのまちや住宅街に出かけ、調査、考察を行いました。学校周辺のまちはもちろん、都会の中でもコミュニティを作り出したまちなど日本中のまちを対象とします。まちあるきを何度も重ね、今までただ歩いていたまちはどのように計画され、どんな制度のもと成り立っているのかを知り、どこへ行ってもまちの特徴や建築物の並び方、長短を考えるようになりました。半日または1日をかけて広いまちを歩くことはとても疲れます。しかし将来、自分の故郷に還元できそうなまちづくりに出会ったときはとても探究心

が湧きます。今後さまざまな視点を身につけたいです。

今夏、夏休みを利用し、ロンドンへ語学留学へ行きました。私はこの留学で初めて日本を出て、数えきれないほどの経験をしました。一番の財産は語学学校で様々な国の生徒と共に学んだことです。ここでは日本はグローバルスタンダードではないということを思い知りました。日本の大学では生徒はほとんど発言することはありません。しかし世界の学校はみな疑問や意見を大胆に先生や生徒にぶつけます。そのため最初の1週間は輪に入れませんでした。2週目から、これではいけないと自分を奮い立たせ、自信がないことでも発言することに挑戦しました。するとなぜか友達ができていました。これは日本には分からない事であり、世界と対等に関係を築くための基準を体感しました。

蛭田 哲也

富山大学
経済学部経済学科1年
(岐阜県立大垣西高等学校卒)

大学での学びは将来の自分にとっての「力」になる！

大学1年前期を終えて、学ぶことはおもしろいと感じました。特に入門ゼミではそれを強く感じました。開発経済や雇用、貿易など教授の専門分野に応じた講義を受け、自ら資料を探し、仲間とディスカッションを交えながらその課題と対策を考えます。そして最終的にレポートをまとめて提出するというものです。専門的な内容を学べるとともに絶対的な答えがない問題に対して、どのように考え、どのような対策を練るか、そしてどのように実現させるか、それらを自主的に行い自分なりの結論をみつけたときの喜びと充足感は言葉では表現できないほど大きなものでした。

そして金融、財政の基礎知識をサブプライムローン問題や、ギリシャ危機などの事例から学びました。講義のなかで「正確に定義を理解すること」を何度も言われました。例えば経済学における「消費」という言葉は日常用語での意味「物・時間・エネルギーなどを、使ってなくす」とは異なります。日常的に使ってきた用語であるからこそ混同しやすく注意が必要です。正確に用語を押さえた上で後期以降、より深い内容を学びたいと思います。

さて、冒頭で入門ゼミについて述べましたが、現在の私には結論を導くことはできても、それを実現させる力はありません。それを実現させるためには、さらなる言語力や専門的な知識の習得が必要です。この大学生活は、将来の私にとって間違いなく大きな力となり得るものです。そう考えると、より一層、学習に対する意欲が湧いてきます。今後もこの高いモチベーションを維持して学業に専念いたします。

また、前期の経済学では、日本経済の現状やマクロ経済、ミクロ経済、

危機を突破する力

丹羽宇一郎

2019年

「危機を突破する力」

丹羽宇一郎 (著)
出版社: 角川新書

「危機を突破する力」

丹羽宇一郎 (著)

この本は伊藤忠商事会長・社長などを歴任後、2010年(平成22年)から2年半中華人民共和国駐劔特命全権大使を務めた丹羽宇一郎氏の著書であります。

名古屋大学法学部在籍時には学生運動家として安保闘争の先頭に立っています。

伊藤忠商事社長就任も1年半後の1999

年10月には不良資産の一括処理し、当時産業界最大規模となる3,950億円の特別損失を計上していますが、その決断までの葛藤が書かれています。

中国大使時代には、尖閣諸島問題の渦中に巻き込まれ、日中間で一触即発の緊張関係に身を置くことになっています。

最近青少年の不祥事が多発していますが、氏は、「愛情が少なく育つと粘りが無い」と、教育は三位一体(家庭、学校、社会)になって初めて十全たる教育が成り立つと言われて

います。

また、氏の実家は名古屋で本屋を営んでいました。そのため本はいくらでも読み放題だったそうです。読書については、みんなが薦める名著を読んでも、自分にとって面白くなければ身につかないうえに苦痛であると。大事なのは本人が「面白そうだな」と思うかどうかだと。

推薦図書に掲載しています。

平成28年度 スポーツ・文化系部活動振興支援事業並びに地域振興事業支援金 募集中!

締切日(消印有効)

平成28年4月30日

詳細につきましては、下記財団ホームページをご覧ください。事務局へお問い合わせ下さい。

スポーツ・文化系部活動振興支援事業

■事業の概要

高等学校運動部及び文化系部活動のなかで、大きな目標を持ち、日頃から積極的な活動を実施している団体や、十分な活動時間が持てないなか活発に活動している特別支援学校等に対して、支援することを目的としております。

■審査基準

- ① 支援金は部活動向上のための商品、什器・備品等の購入のための支援金であり、遠征・宿泊費等は支援できませんのでご注意ください。
原則として、パソコン、ユニフォームも対象にしておりません。
- ② 活動内容が、部活動等を通じて豊かな人間性を確立するという目的に沿っているか、といった観点から審査いたします。必ずしも、よい成績を取めるためでなくてもかまいません。もちろん、独自の取り組みの結果として好成績を取めている場合は評価いたしますが、過去の成績だけで選考することはありません。

スポーツイベント

■事業の概要

当事業は、岐阜県内で開催される小・中・高生を対象としたイベントで、青少年の健全育成に寄与することを目的としております。
活動内容が、スポーツを通じて、仲間とともに力を合わせて心・技・体の鍛錬を重ねる活動であるかどうか、といった観点から審査いたします。
必ずしもよい成績を取めるためでなくてもかまいません。
予算の許す範囲で助成いたします。

■審査基準

- 助成対象は、岐阜県内で今事業年度(4月～翌年3月)に行なわれるイベントで、営利目的ではないことを条件としております。
助成申請があったイベントに対し助成をする応募型の助成で、青少年の健全育成または地域の活性化に資するかといった視点に立ち選考し、選考の結果、当法人が必要と認めた額を助成いたします。
ただし、下記のものは対象外となります。
- (1) 個人的な事業
 - (2) 毎年継続的に行なわれる恒例的な事業の複数回の助成(一回限りならば助成可能)
 - (3) 目的が明確でないもの
 - (4) その他、当財団がふさわしくないと判断したもの

地域振興事業

■事業の概要

当事業は、地域の各種団体等が取り組む様々な地域振興事業に資金の助成を行なうことで、人材の育成または地域の活性化に資することを目的としております。

■審査基準

- 助成対象は、岐阜県内で今事業年度(4月～翌年3月)に行なわれる文化・教育・国際交流等に関する事業活動で、営利目的ではないことを条件としております。
助成申請があった事業活動に対し助成をする応募型の助成で、人材育成または地域の活性化に資するかといった視点に立ち選考し、選考の結果、当法人が必要と認めた額を助成いたします。
ただし、下記のものは対象外となります。
- (1) 個人的な事業
 - (2) 毎年継続的に行なわれる恒例的な事業の複数回の助成(一回限りならば助成可能)
 - (3) 目的が明確でないもの
 - (4) その他、当財団がふさわしくないと判断したもの

■選考の流れ(全事業共通)

～平成28年4月 奨学会へ申請書を提出*

平成28年6月 審査

平成28年6月 結果を通知

平成28年7月 贈呈式

*高等学校の部活動は学校長を介して、奨学会へ申請書を提出してください。